



生まれ変わるなら、男と女どちらがいいですか？

「男のくせに」「女のくせに」きっと誰もがいわれた経験があるはずです。「女性は几帳面で優しい」「男性は度胸と責任感がある」といった考え方はすべての人にはまるものではありません。あなたの周りを見回してみてください。几帳面な男性もいるでしょう。责任感のある女性もいるでしょう。そして、そのような人たちはあなたの周りにたくさんいるはずです。

しかし、現実には「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」と決めつけることで、性別役割分担意識を生み、その結果、個人のあり方や生き方に大きく影響を与えていたのです。性別に関わりなく誰もが暮らしやすい社会、それが「男女共同参画社会」です。

「にかほ市男女共同参画計画」を策定

市はまちづくりの基本理念である「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち」にかほ」を実現するため、男女の権利が互いに尊重され、ともに責任を分かち合う、そして一人ひとりが性別に関わらず、あらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、「にかほ市男女共同参画計画」を策定しました。

計画では、次の4つを基本目標とし、具体的施策の一つひとつに担当課を明記しています。また、計画の期間は平成19年度から23年度までの5ヵ年としています。

- ①男女共同参画社会に向けた意識改革
- ②政策、方針決定過程への女性参画の拡大
- ③家庭、職場、地域において多様な生き方が選択できる環境の整備
- ④男女共同参画による健康長寿社会の実現

※計画書は、自治会、事業所、学校、公民館、図書館などに配付しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。

6月は男女共同参画推進月間です

6月23日から29日は
『男女共同参画週間』です



あきたF·F推進員:柴田禮子さん
(北金浦1区)

あきたF·F推進員に聞いてみました 男女共同参画のQ&A

Q 女性の社会進出を強調すると、専業主婦には肩身が狭い思いをさせてしまうのでは?

A 男女共同参画は、個人の思いと人権が尊重される社会です。女性が働くことをあきらめない社会、働いている女性が性差別の扱いを受けない社会はもちろんですが、働くことだけが社会進出ではありません。地域活動に参加するなど、社会に積極的に関わっていくことで、活気に満ちた人生や社会になると思います。

Q 男女共同参画のため大切なことは?家庭が互いに思いやりをもちなが、特定の人の負担が大きくならないよう、家族の一員としての責任を果たし、苦労も喜びも分かち合う、笑顔の絶えない暮らしが大切です。毎日10回、家族に「ありがとうございます」と言つてみてください。家庭に変化が表れるはずです。そして、いつしか社会も変わることでしょう。

Q あきたF·F推進員とはなんですか?男女共同参画社会の実現に向けて各市町村での取り組みや地域活動が活発に行われるよう、推進的な役割を担うリーダーです。現在、市には私のほかに男性と女性が一人ずついますが、市内での推進が広がるよう、もつと増えてほしいと思います。研修がありますので、どなたでも大丈夫です。

※F·Fは『Female-Fifity』の頭文字をとった造語です。

市総合発展計画の主要施策のひとつにも男女共同参画の推進があり、審議会等の女性委員の割合目標を50%としています。現在は約41%ですが、女性のいない審議会もありますのでそれを解消するとともに、女性の参画を促進します。

一方、市内に103ある自治会のうち、女性の会長は一人だけです。役員も大半を男性が占めているのが現状です。そのため、地域の会合は男性の意見を中心に進められていることが多いと思われます。地域のことだけでなく、大切なことは家族また男女を問わず一緒に考えていただきたいものです。

①民放テレビ局アナウンサー 笠井信輔さんの講演会を開催

生番組を休んで立ち会い出産を経験。奥さんもキャスターのため、3人の子育てにも活躍中。職場と家庭で実践している男女共同参画について、お話をいただきます。

②対話劇キャラバンを派遣します

登場人物の会話だけで進める劇ですが、地元の言葉で分かりやすく伝えています。20分程度の内容で、料金は無料です。各種研修会などにお呼びください。

期日	10月20日(土)
時間	午後1時30分(予定)
会場	仁賀保勤労青年ホーム
参加料	無料(託児あり※要申し込み)
主催	にかほ市

県では、県民に広く男女共同参画についての関心と理解を深めるとともに、積極的に男女共同参画の推進に関する活動への参加を促進するため、男女共同参画月間を設けています。期間中は、「ハーモニー・フェスタ2007」の開催や県民3千人を対象とした「男女の意識と生活実態調査」が行われるほか、ポスター・チラシによる広報啓発活動を実施します。

今年度の男女共同参画週間の標語は、本県三種町の篠田健三さんの作品「いい明日は仕事と暮らしのハーモニー」が公募で選ばれ、さまざまな媒体を通じて、広報啓発に活用されています。

応募総数1,913点の中から選ばれたこの標語は、仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を呼びかけています。男女がそれぞれの希望にあつた人生を送るために、ワーク・ライフ・バランスが必要であり、国、県、自治体等が一体となつて、これを推進します。

国では、毎年この一週間を男女共同参画週間として、広報啓発活動を実施しています。これは、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえたものです。

今年度の男女共同参画週間の標語は、本県三種町の篠田健三さんの作品「いい明日は仕事と暮らしのハーモニー」が公募で選ばれ、さまざまな媒体を通じて、広報啓発に活用されています。

応募総数1,913点の中から選ばれたこの標語は、仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を呼びかけています。男女がそれぞれの希望にあつた人生を送るために、ワーク・ライフ・バランスが必要であり、国、県、自治体等が一体となつて、これを推進します。

A Q 女性を優遇するものではないですか?
「女性を優遇する方がほとんどです。では、そう思われる方がほとんどです。では、『女は仕事、男は家庭』と考えてみてください。立場を換えると『おかしいな?』と感じることが多いはずです。次に『女も仕事、男も家庭』と考えてみてください。もっと仕事をしたい女性も、もっと家庭の時間をもちたい男性もいるでしょう。人生いろいろです。男女共同参画はいろいろな局面で「仕事と家庭の比重」を変えるなど、ワンバターンではない多様な生き方が認められ、それが支援される社会を目指すのです。

A Q 女性が産後、子育てしやすい環境を整備するとともに、男性も子育てに積極的に関わることで少子化対策にも貢献できます。また、人権を尊重し、性別に関わりなく個性と能力を発揮できる平等な社会は、男女双方のメリットとなるだけでなく、老若男女すべての人が暮らしやすい社会でもあるからです。

A Q 女性を優遇するものではないですか?
「女性を優遇する方がほとんどです。では、そう思われる方がほとんどです。では、『女は仕事、男は家庭』と考えてみてください。立場を換えると『おかしいな?』と感じることが多いはずです。次に『女も仕事、男も家庭』と考えてみてください。もっと仕事をしたい女性も、もっと家庭の時間をもちたい男性もいるでしょう。人生いろいろです。男女共同参画はいろいろな局面で「仕事と家庭の比重」を変えるなど、ワンバターンではない多様な生き方が認められ、それが支援される社会を目指すのです。

A Q あきたF·F推進員とはなんですか?男女共同参画社会の実現に向けて各市町村での取り組みや地域活動が活発に行われるよう、推進的な役割を担うリーダーです。現在、市には私のほかに男性と女性が一人ずついますが、市内での推進が広がるよう、もつと増えてほしいと思います。研修がありますので、どなたでも大丈夫です。

※F·Fは『Female-Fifity』の頭文字をとった造語です。